

BCP 策定支援

災害時の全社的な初動・復旧対応イメージやサプライチェーンの被災状況を反映した復旧対応イメージが明確につかめる実効性のある BCP 策定のお手伝いをいたします。

サービスの特徴

1. 拠点間および部門間での相互連携を前提とした BCP を策定します。
2. 全社的に整合性のとれた BCP を策定します。
3. 各部門ごとの復旧行動を全社的な観点から最適化します。

BCP 策定までのステップ

1	推進チーム教育	推進チームに対する概要教育を実施します。
2	基本方針策定	BCP を策定するうえでの基本方針を決定します。
3	初動対応マニュアル策定	初動対応のための役割や行動方針、および、手順を策定します。
4	対策本部マニュアル策定	対策本部の役割や行動方針、および、手順を策定します。
5	業務分析実施	業務活動を継続するために必要な作業を特定します。
6	経営資源(内部)分析実施	業務活動を継続するために必要な経営資源(内部)を特定します。
7	経営資源(内部)分析実施	業務活動を継続するために必要な経営資源(内部)を特定します。
8	リスク分析実施	経営資源に対するリスク分析を実施します。
9	リスク対応策検討	リスク分析の結果を踏まえて対応策を決定します。
10	被災シナリオ決定	災害に対する被災シナリオを設定します。
11	目標復旧指標特定	事業と事業を構成する業務の復旧指標を特定します。
12	事業継続戦略策定	事業を継続、復旧するための戦略を策定します。
13	業務復旧方法検討	業務活動の復旧手順を策定します。
14	BCP 文書の策定	BCP 文書を策定します。
15	演習実施	初動対応や復旧方法の実効性を検証します。
16	BCP 文書の見直し	BCP 文書の見直しを実施します。

BCP 策定時の留意点

1. 経営層、対象事業部門、システム管理部門の参画は必須です。
2. 最初はなるべく小さい範囲（部門、拠点、災害の種類など）で作成し、そこでの経験をもとに範囲を拡大していきます。
3. 実効性のある BCP を策定するために、行動手順はあまり詳細に決めず、行動指針や簡単な行動手順レベルにとどめます。
4. BCP 策定後には、検証を必ず実施し、見直しを行います。

プロジェクト完了までの工数とスケジュール

1. 各ステップごとに1回の訪問と次のステップまでのメールでの問合せに対応します。
2. 各ステップごとの間隔は、1～2週間を想定しています。
3. お客様の規模（部門数や拠点数など）によって、同じステップを複数回実施する場合があります。